

## 令和5年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立岐阜盲学校

学校番号	101
------	-----

### 自己評価

学校教育目標	障がいによる学習上又は生活上の困難を克服し、互いに助け合い、明朗で、たくましく生きる力を身に付け、社会に貢献する児童生徒を育成する。
評価する領域・分野	保健安全部「保健管理」「安全管理」
現状及びアンケートの結果分析等	・保護者の評価で「学校は医療機関と連携を図って児童生徒の健康管理に安全に気を配っている」の項目において、「わからない」との回答がいくつかあった。健診の結果や、視察の結果などを積極的に発信していきたい。
今年度の具体的かつ明確な重点目標	・児童生徒が安全や健康についての意識を高め、実践できる。 ・安全な生活環境や保健教育について、校内の保健管理、衛生に努める。 ・様々な災害時に職員が児童生徒を迅速に避難できるよう誘導指示を行う。 児童生徒は、災害に応じた避難方法を理解し、行動できる。
重点目標を達成するための校内組織体制	・保健安全部が中心となり、全職員と連携をとりながら全校体制で取り組む。 ・保健委員会の安全や衛生に関わる活動を明確にし、計画的に実施する。
目標の達成に必要な具体的取組	(1) 安全で衛生的な環境を維持し、健康への意識を高めた行動や生活ができるよう様々な場面で啓発、実施していく。 (2) 命を守る訓練を実施し、状況に応じた命の守り方を理解する。 (3) 健康面や衛生面について不安を聞き取り、ケアしていく。
達成度の判断・判定基準あるいは指標	(1) 健康や安全な生活を意識し理解を深め、健康的な生活を送れたか。 (2) 状況に応じた身の守り方、避難経路等を理解できたか。 (3) 健康や衛生的な生活について、理解を深めることができたか。
取組状況・実践内容等	(1) 感染症予防対策の実施、清掃環境や安全環境を整備した。また、換気や密度に配慮して授業や給食を実施した。 (2) 火災、地震、洪水（内水）を想定して命を守る訓練や授業を実施した。
評価の視点	評価
①健康に気を付け衛生的な環境のもとで、安心・安全な学習や生活ができたか。	A B C D
②避難訓練や授業を通して、状況に応じた命を守る行動や方法を理解したか。	A B C D
③様々な感染症の啓発活動や授業・予防対策等を通して、衛生的な生活ができたか。	A B C D
成果・課題	総合評価
○新型コロナウイルスに関する制限が和らぎ、県外への修学旅行や学齢児全員での体育参観を実施することができた。 ○洪水（内水）での命を守る訓練や授業を行い、水災害への意識が高まった。 ▲訓練が形式的なものになりつつあるので、実施の方法や内容を工夫したい。	A B C D
来年度に向けての改善方策案	・健康管理や安全、衛生的な学校生活について定期的な啓発活動を実施する。 ・命を守る訓練の反省や専門家の意見を踏まえて、児童生徒の実態に合う命を守る訓練の方法や内容を検討していく。

### 学校関係者評価 （令和5年6月22日、同年11月3日、令和6年1月31日実施）

意見・要望・評価等
・児童生徒の安全のために「命を守る訓練」「職員研修」が実施されている。トイレの環境など特別支援学校では、よい環境の中で児童生徒が生活できるようにしたい。